

宮崎県拠点のWebサイトはこちらから



宮崎県拠点だより

R6.3.1~
本格運用
スタート

環境負荷低減の「見える化」☆☆☆

- 農林水産省では、みどりの食料システム戦略に基づき、持続可能な食料システムを構築するため、食料システム全体での環境負荷低減の取組や国民理解の醸成に向けて、環境負荷低減の取組の「見える化」を推進しています。
- 化学肥料・化学農薬や化石燃料の使用低減、バイオ炭の施用、水田の水管理などの栽培情報を用い、定量的に温室効果ガスの排出と吸収を算定し、削減への貢献の度合いに応じ星の数で分かりやすく表示します。
- 米については、生物多様性保全の取組の得点に応じて評価し、温室効果ガスの削減貢献と合わせて等級表示できます。
- 令和6年3月1日から、新たなラベルデザインによる環境負荷低減の取組の「見える化」が本格運用されました。



温室効果ガス削減への貢献

栽培情報を用い、生産時の温室効果ガス排出量を試算し、地域の慣行栽培と比較した削減貢献率を算定。

$$100\% - \frac{\text{対象生産者の栽培方法での排出量(品目別)}}{\text{地域又は県の標準的栽培での排出量(品目別)}} = \text{削減貢献率(\%)}$$

排出(農薬、肥料、燃料等) - 吸収(バイオ炭等)

★ : 削減貢献率5%以上
★★ : 削減貢献率10%以上
★★★ : 削減貢献率20%以上

対象品目：23品目 米、トマト、キュウリ、ミニトマト、ナス、ほうれん草、白ネギ、玉ねぎ、白菜、ばれいしょ、かんしょ、キャベツ、レタス、大根、にんじん、アスパラガス、リンゴ、みかん、ぶどう、日本なし、もも、いちご、茶

生物多様性保全への配慮

※米に限る

<取組一覧>

化学農薬・化学肥料の不使用	2点
化学農薬・化学肥料の低減(5割以上10割未満)	1点
冬期湛水	1点
中干し延期または中止	1点
江の設置等	1点
魚類の保護	1点
畦畔管理	1点

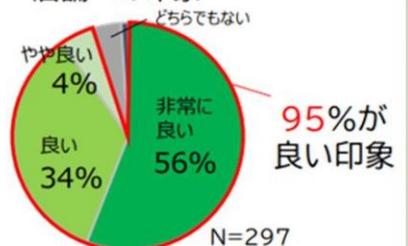
★ : 取組の得点1点
★★ : 取組の得点2点
★★★ : 取組の得点3点以上

消費者への
わかりやすい
表示



G7宮崎農業大臣会合(R5.4.22~23開催)の会場で展示された温室効果ガス削減の「見える化」説明ブース

店舗への印象



(令和4年度・令和5年度実証より)

「宮崎県内の棚田」WEBを作成！

「つなぐ棚田遺産」～ふるさとの誇りを未来へ～

Webサイトは
こちらから



宮崎県内で「つなぐ棚田遺産」に認定された13地域を直接訪問し、取組状況や棚田の魅力、近隣の観光スポットやアクセス地図などをわかりやすく取りまとめ、県拠点WEBサイトに掲載し、棚田の魅力を広く情報発信しています。



紹介事例（日南市「坂元棚田」）



第2回農泊交流人材育成セミナー

3月5日、今年度第2回の宮崎県農泊交流人材育成セミナー(延岡ふるさとツーリズム協議会・みやざきツーリズム協議会共催)が、野口遵(したがう)記念館(延岡市)を主会場として開催され、県内各地から多くの農泊実践者や農泊・ツーリズム関係者等が集まりました。

九州農泊の発祥地といわれる安心院(あじむ)グリーンツーリズム研究会農泊部長「百年乃家ときえだ」時枝仁子(まさこ)氏の基調講演と「なぜ農泊交流人材を育成するのか～選ばれる地域になるために～」をテーマに活発な意見交換会が行われました。

宮崎県拠点からは、食料・農業・農村基本法改正や農泊推進実行計画について説明、クロスコンプライアンス導入の情報提供を行いました。



基調講演の
時枝仁子氏

宮崎県拠点
幸野総括農政業務管理官



意見交換会の様子

●本紙の記載内容や農政についてのご質問、ご意見等お気軽にお問い合わせ下さい。

●宮崎県拠点 地方参事官室
TEL 0985-24-2365
〒880-0801 宮崎市老松2丁目3-17

編集後記

全国に先がけて、宮崎気象台から「さくらの開花宣言」が発表されました。新型コロナウイルス感染症が5類に移行し、数年ぶりにさくらの花見を楽しみたいものです。満開のさくらもきれいですが、私は満開を過ぎた花吹雪が大好きです。散り際の美学を見習いたい今日この頃です。(T)